

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2018年4月14日～2018年4月20日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で上昇しました。またトルコの2年国債金利は低下(価格は上昇)しました。

トルコのエルドアン大統領は4月18日(現地)に、来年の11月3日に予定されていた総選挙を今年の6月24日に前倒しする方針を発表しました。今後、議会における承認を経て正式決定される見込みですが、与党AKP(公正発展党)と選挙協力する見込みであるMHP(民族主義者行動党)の賛成票で可決されるとみられます。

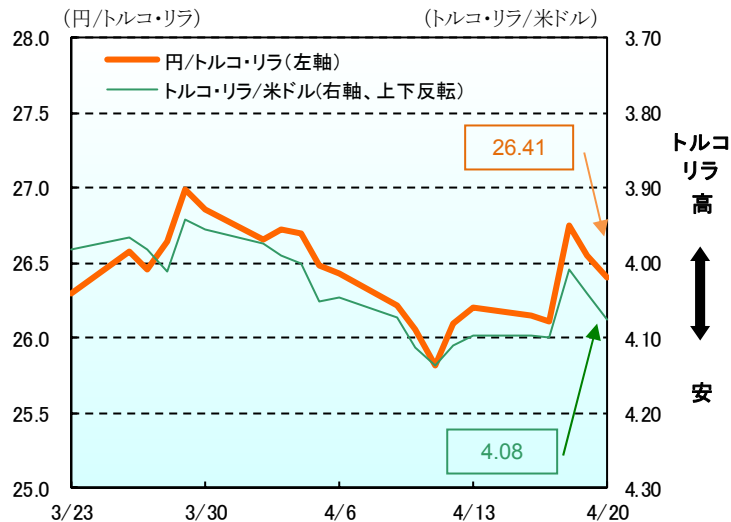
選挙の前倒しによって、経常収支の悪化をまねくような国民の人気取りを目的とした過度の景気刺激や中央銀行への介入が抑制されるとの見方が広がり、債券、通貨ともに買われる展開となりました。

【2】今週の見通し

今週は金融政策委員会が予定されています。通貨の下落やインフレ率の高止まりを受けて、市場では金融引き締め再開として後期流動性貸出金利の引き上げが見込まれており、市場の期待を裏切らない内容を示せるかが注目されます。また、選挙の前倒しに関する発表は、当初の反応としては市場に好感されましたが、選挙後の政策の行方に関する発言や市場の思惑の変化には注意する必要があります。

シリアをめぐる地政学リスクの動向や欧米諸国との関係に絡む発言等に関しても、引き続き相場を動かす要因として警戒していく必要があると考えます。

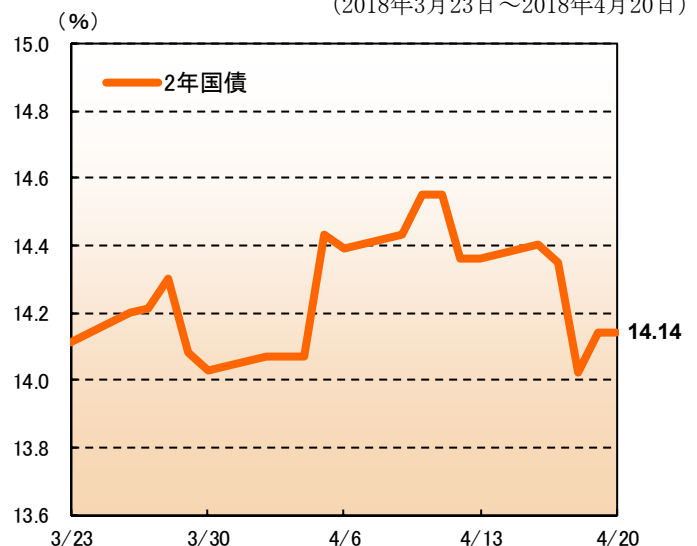
【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年3月23日～2018年4月20日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】

(2018年3月23日～2018年4月20日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>